

文芸コーナー

短歌

俳句

加藤恵美子選

田口 三石選

ゆるやかに蛇行しつづく利根運河土手のなだりに菜の花の咲く
三十年通ひ親しみしデパートの閉店報道ただに寂しむ
畦道に泥落としつつトラクターが音たてて行く田植の近く
おほかたは吸い込まらんフォルテシモ雨風の夜はことさらに弾く
抱卵の交代に翼ひろげ立つ雛を育むこうのとりつつがひ
大森 中澤 とし
戸神台 佐々木 岬
大塚 廣島 直之
若萩 伊藤 博康
竜腹寺 五十嵐 栄子

<短歌・俳句をお寄せください>
一人一首または一句で未発表のもの。毎月 20 日締め切り(必着)です。投稿は、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を明記の上、広報広聴課広報広聴班まで。

ほっとレポート



広報レポーター：瀧田 昭造 (滝野)

伝統を継承
平岡鳥見神社の獅子舞



平川昌治会長

5月のゴール
デンウィークの真つただ中、晴天に恵まれた平岡の鳥見神社。厳かに行われた式典の後、3匹の獅子による舞が始まります。一斉にカメラのフラッシュが光り、力強い獅子の舞に引き込まれて行きました。千葉県無形民俗文化財に指定されている「平岡鳥見神社の獅子舞」はオコトに結びついて伝承された民俗芸能です。2月8日は新しい年の農事を始める「御事始め」をオコトと言います。延宝六年(1678)平岡に鳥見神社が建てられ悪魔を払い、豊作



左からジジ(親獅子)セナ(若獅子)、カカ(雌獅子)

を祈願する獅子舞として氏子一同水稲の種まきを終えてからオコトを称し鳥見神社の神前で舞われるようになりました。舞人は氏子の青年男子から選定され、現代に伝承されています。獅子は、ジジ(親獅子)、セ

ナ(若獅子)、カカ(雌獅子)の三匹獅子舞です。演目は「初の切」「二の切」「弓くぐりの舞」など21の演目で構成されています。この歴史ある平岡鳥見神社の獅子舞の保存会の会長であり、祭典委員長の平川昌治さんと祭典委員の稲村義雄さんにお話を伺いました。



次の世代へ継承します

平川会長は「舞人が少なくなる中で、新たに3人の伝承者が決まり、3月から練習に励んでいます。3人の頑張りや次の世代に伝えていく力となるでしょう」と期待を込めて話してくれました。稲村さんは「若い獅子のセナは頭の毛が黒で作られています、ジジは頭の毛

に白髪を表す白い毛が混じっています。演目も、例えば、弓くぐりの舞は、むこうの世界(天国)のことを、みみず拾いの舞は、食事を表しています」とひとつひとつに舞う意味があることを話してくれました。境内は伝統ある獅子舞を

ひと目見ようと見学者であふれており「初めて見ました。歴史の深さと、後世に伝承していく人たちの熱意が感じられました。」「過去に舞人をしていました。文化財を支え伝えていく重さを感じます。次の世代に、技と心を伝えて欲しい」などの感想を聞くことができました。

リサイクル情報広場

掲載情報は平成 28 年 5 月 15 日現在
■クリーン推進課クリーン推進班(☎内線 383)

◆ゆずりませ情報

- ①五月人形②ダイハツミラ純正スタッドレスタイヤ③セミダブルベッド

◆さがしています情報

- ①補聴器②木刈小学校体操服上下③しおん幼稚園女子制服上下④鋳物製の羽釜⑤スピードラーニング初級 16 巻テキスト付⑥布佐台幼稚園男子夏制服⑦ダイニングテーブルセット⑧きかり幼稚園女子制服体操服一式⑨ベビーカー

※詳しくは市ホームページをご覧ください

毎月 5 日は「ノーレジ袋デー」です。
お買い物にはマイバッグを持参しましょう。



施設がいに



広報レポーター：木下 映子(高花)

木下交流の杜



芝生が一面に広がり季節の花々が楽しめます

五月晴れ、それより上の日本晴れ、最高の晴れた日を天晴れと言うそうです。そんなよく晴れた一日。4月27日にオープンしたばかりの「木下交流の杜(木下14

89-1)に行ってきました。木下駅の東側、利根川を見下ろす小高い丘の上にあります。この場所にはかつて印旛高校(現印旛明誠高校)があり、移転後の跡地を利用して新たに2つの施設に生まれ変わりました。1つ目は地域の歴史に広がることのできる歴史資料センターです。広場には芝生広場、出合いの広場、交流展望広場の3つの広場が階段で

結ばれた造りになっています。約1.8ヘクタールの広場には芝生が広がり、ツツジが見ごろを迎えていました。高台にあるため見晴らしは最高です。眼下には利根川の川面がキラキラと輝き、木下地区の町並みと遠くに見える富士山が美しく感じました。歴史資料センターの小池所長に話を伺うと「周囲に高い建物がなく沈む夕陽がきれいに見えます」と話してくれました。



からだじゅうにパノラマが広がります

広場に隣接する歴史資料センターは旧印旛高校のトレーニンクス室を利用したものです。開館時間は午前9時~午後5時、入場料は無料です。展示室には木下周辺

の原始から近代はじめまでの歴史資料を展示しています。貝層、土器、木下河岸のジオラマや蒸気船「銚港丸」の模型など見応えは十分です。近くには国指定の天然記念物「木下貝層」もあり、太古の自然と歴史に触れることができます。今では見ることのできない大昔の生活ぶりを想像させる歴史資料に触れて、少しでも興味をもってほしいと思います。職員



歴史資料センター
木下地区の歴史が隠されています

豊かな自然環境に恵まれた立地を生かし、「ふるさといんざい」として市民自慢の場所になることを願っています。
歴史資料センター(☎43500)・広場について(都市整備課、☎内線743)。